

C-33 近世以降に下ける 農衣服飾の研究 — 裾服材料 —
和洋女大文家政 鷹司繪子

衣服材料は環境文化の一要素である。古来相視等により各地で産出されたと考えられる衣料品には大差に精巧な織技があつたけれども、そうした高級織物は実用品ではなかつた。こういう織技を持つ中でどれだけの衣料が実用とされ、その布はどのような様であつたかを明かにする。

資料 調査書、地方所村史、緊急調査報告、其他郷土史及古文書類